

医療安全に関する取組み

1. 基本方針

道南ロイヤル病院の基本方針である、「地域に根ざした安心の医療」を実践するために、職員個々人の安全活動に対する意識を育み、病院全体での組織的な事故防止対策の実施、関係法令を遵守した医療活動を推進していくことを安全管理の基本方針としています。

2. 安全管理の組織と体制

当院における医療安全対策と患者の安全確保を推進するため、専任の医療安全管理者を配置し医療安全対策を組織横断的に行う機関として医療安全管理部門を設置しています。

また、院内全体の問題点を把握し改善策を検討するなど、医療安全対策を総合的に企画、実施するために医療安全管理委員会を設置しています。

3. 報告等に基づく医療安全確保のための改善方策

当院で発生したインシデントなどの事故接近事例及び重大な事例は速やかに収集し、調査・分析に基づく改善策の策定及び実施状況の評価を行っています。

4. 医療安全管理のための研修

職員の安全に対する意識、技能の向上等を図るため、医療安全に関する研修の企画・実施・評価を行っています。院内巡回や事故報告による情報を基に研修の場に反映させています。

5. 医療事故発生時の対応

医療側の過失によるか否かを問わず、当院の総力を結集して可能な限り患者の救命と被害の拡大防止に努めています。また、病院として事故原因を調査究明し、再発防止に万全の措置を検討しています。

6. 患者相談窓口の設置

患者・家族等からの相談等について、速やかに対応するために患者相談窓口を設置しています。医療安全対策に係る患者、家族の相談に適切に対応するため、『医療安全管理者 七崎和幸』がお話を伺い対応いたします。

7. 安全対策の地域連携

グループ内の外部医療機関と連携し、安全対策活動に関する評価を受けています。
連携施設：札幌消化器中央総合病院（グループ内外部医療機関）